

2-P-28 「ええ」に対するパラ言語の認知における F0 の影響

Influence of F0 on Paralinguistic Information Recognition for /ee/

高見和之, ○小林聡(島根大・総合理工)

「ええ」という 2 モーラ語において、声の高さやその変化から、人間がどのようなパラ言語情報を受け取るのかを調べるため、合成音声を作成し聴取実験を行った。

被験者 25 名は、24 個の印象語について各々 5 段階で評価した。

評価実験後、F0 の変化率と F0 の平均について、印象語の評価の傾向を調べた。その結果、24 個の印象語は 5 つのグループに分けることができた。

印象語	F0 の変化率	F0 の平均
驚き、疑問、高揚、 強調	正のときに 評価高	F0 が高くなると 評価高
悲しみ、無関心、 冷静	負のときに 評価高	F0 が低くなると 評価高
不満、落胆、不安、 軽蔑、嫌悪、怒り	全体的に 評価中	F0 が低くなると 評価中～高
満足、喜び、好意、 信頼	全体的に 評価低	F0 が高くなると 評価中
恐れ、中立、慎み、 同情、安堵、肯定	全体的に 評価低～中	100～130 Hz で 評価中